

産業廃棄物処理計画書

令和 6年 5月 31日

大津市長 佐藤健司 殿

提出者

住 所 滋賀県大津市本宮1丁目4番26号

氏 名 灰孝小野田レミコン株式会社

代表取締役 山内和宏

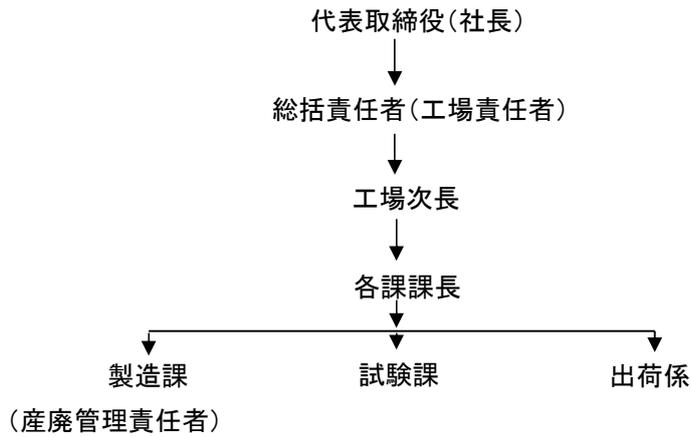
電話番号 077-522-9166

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	灰孝小野田レミコン株式会社
事業場の所在地	滋賀県大津市本宮1丁目4番26号
計画期間	令和 6年 4月1日から令和 7年 3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	窯業・土石製品製造業(E21)
② 事業の規模	年間生産量 約8万m3
③ 従業員数	10名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>① ミキサー車ドラム内洗浄水 → 脱水処理 → スラッジケーキ硬化処理</p> <p>② 余剰品残コン洗浄水 → 脱水処理 → スラッジケーキ硬化処理</p> <p>→ 産業廃棄物中間処理場に委託</p> <p>③ 戻りコンクリート発生 → 産業廃棄物中間処理現場に搬送</p>

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(令和5年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	コンクリートくず
	排出量	1,890 t	6,446.38 t
	(これまでに実施した取組) ① 汚泥水(スラッジ水)をプレス脱水機により、回収水は再利用。 ② 硬化ケーキを中間処理に委託。 ③ 余剰品硬化コンクリートを中間処理に委託。 ④ 戻りコンクリートをミキサー車で中間処理現場に搬送。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	コンクリートくず
	排出量	2,000 t	5,000 t
	(今後実施する予定の取組) 製品の納入先と連絡を密にして余剰生産を防止する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) なし。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) なし。

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度(ー 年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	ー	ー
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	ー t	ー t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ー	ー
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	ー t	ー t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度(5 年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	コンクリートくず
	全処理委託量	1,890 t	6,446.38 t
	優良認定処理業者への処理委託量	1,890 t	6,446.38 t
	再生利用業者への処理委託量	ー t	ー t
	認定熱回収業者への処理委託量	ー t	ー t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	ー t	ー t
	(これまでに実施した取組) ① 委託基準に従って、産業廃棄物を委託できる業者を選定し、書面による契約を実施する。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	コンクリートくず
	全処理委託量	2,000 t	5,000 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	2,000 t	5,000 t
	再生利用業者への 処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者への 処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) ① 委託処理業者には、定期的に現場確認を実施する。		
※事務処理欄			